

全国幹事会決議

全会員総力を挙げて下記に掲げる課題を達成し、第 38 回定期大会を迎えることを日本科学者会議第 42 期第 2 回幹事会の名において決議する。

2006 年 9 月 17 日

記

- 一、組織強化・会員拡大について、全支部・地区で目標と具体的な計画を持つ。会活動の活性化と支部時事務局体制の確立をはかりつつ、会員拡大に集中的に取り組む。全支部で新入会者を迎える。
- 二、研究者の権利・地位宣言、研究者の倫理綱領の両案について大会での採択をめざし、全支部で討議を具体化し、12 月までに基本的な討議を終えるよう取り組む。
- 三、“憲法・教育基本法企画”など憲法、教育基本法を守る取り組みをさらに強化する。当面 9 月 26 日に開会される臨時国会において、政府案の廃案、民主党案の取り下げをめざし、全支部あげて創造性豊かな取り組みをすすめる。
- 四、第 16 回総合学術研究集会を成功させるため、プレシンポジウムなどの企画実現によって、全支部からの参加をめざす。
- 五、後継者養成を視野に、若手夏の学校の成功に向けて財政援助など組織的派遣を含めて会員拡大運動とも結合させ、全地区複数以上の参加をめざす。
- 六、国立大学法人化の後、国・公・私立大学において生じている様々な変化について明らかにする。当面 16 総学に向けて取り組みを強める。